

令和6年度

学校自己評価表(報告)

学 校 運 営 計 画				
学校運営方針		生徒一人ひとりの進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、教育活動（学習指導、進路指導、生徒指導等）の充実を図り、地域協働推進校（アソシエイト）として、地域・保護者から信頼される学校づくりを行う。		
三つの方針（スクール・ポリシー）				
育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）		① 地域と協働した探究活動をととして、多角的な視点から地域の課題を探究する力を培い、地域へ貢献する心と実行力を育成します。 ② 個別最適な学びと協働的な学びをととして、多様な価値観を受け入れ、他者を尊重する心と共に成長し続ける姿勢を育成します。 ③学校生活と地域活動をととして、体力・気力・知力を充実させ、豊かな心とひたむきに努力を続ける忍耐力を育成します。		
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）		① 生徒一人ひとりの進路希望達成のため必要な科目を配置し、ＩＣＴ機器を活用して、主体的、協働的な学習活動を展開します。 ② 望ましい職業観・勤労観を涵養し、社会に貢献する人材を育成するため、生徒一人ひとりに応じた進路指導・キャリア教育を推進します。 ③ 豊かな人間性を育み、基本的生活習慣を確立するため、学校行事や部活動、ボランティア活動等をはじめ教育活動を通じて、体力・気力・知力を充実させます。 ④ グローカルな視野を身につけ、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成するため、地域や保護者と連携し、地域課題に取り組む課題解決型の学びを充実させます。		
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）		① 「勤儉力行」の校訓を理解し、志を高く持って何事にも粘り強く取り組む生徒 ② 他者を尊重・協調しつつ、互いに切磋琢磨し、自らを高めることに努力を惜しまない生徒 ③ 郷土愛を胸に、地域社会はもとより、日本と世界に貢献したい志のある生徒		
昨年度の成果と課題		令和６年度の重点目標	具体的目標	
生徒に対して、適時適切な進路指導で学習意欲の向上を促しつつ、日々の授業の他、補習等の充実を図り、学力向上に努めた。東京学芸大学、新潟大学、富山大学、新潟県立大学等の国公立大学合格者が18人となった。また、就職希望者は、公務員等を含め全員（６人）が内定を得るなど成果をあげた。 今後は、新学習指導要領を視野に入れた教科指導やICTを活用した個別最適化学習の指導体制の整備に努める。また、糸魚川市と連携し、自習室運用等の支援を受けると共に、SDGsをテーマとする探究活動「糸魚川学（I Quest.）」を展開し、教科横断的な学びを推進する。生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる組織的運営の学校とする。今年度は教諭数が22人となる。市から派遣のコーディネーターらと協力し、部活動の地域移行を含め業務の選択と集中を進めていく。		生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたりとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	
		夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。 地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	
		基本的生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。 いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	
		個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。 自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	
		信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	
	具体的目標	具体的方策		評価
生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたりとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	確かな学力を養成する適切な教材選択	A	A
		豊富な教材研究による授業の充実		
		小テスト・週末課題等の有効活用		
		実習・実験の効果的実施	A	
		学習習慣の確立に向けた学習指導		
		ICTを活用した個別最適な学習指導	B	
		模擬試験等の有効活用		
他教科間の授業相互参観				
夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。 地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	進路説明会・進路講演会・職業講話の充実	A	A
		高校３年間を通したキャリア教育計画を策定	A	
		進学・就職等の情報の充実	A	
		面接指導・小論文指導の充実		
基本的生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。 いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	基本的生活習慣の確立	A	A
		社会規範意識の醸成（法律や校則の遵守）		
		体力・持久力の向上	A	
		いじめを見逃さない学校づくり	A	
		生徒会・委員会活動の活性化		
		部活動の活性化	A	
		自己有用感と自己肯定感の向上		
個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。 自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	分掌・学年・教科等での情報の共有	A	A
		研修会等への積極的参加		
		学校活動を通しての生徒理解		
		考えや意見を発表させる機会の充実		
		学校施設の整備		
信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	保護者や地域、中学校との交流	A	A
		学年通信等の発行		
		保護者への進路情報提供の充実		
		授業・学校行事の公開		
		ICTを活用した情報公開、発信の充実		
成果	地域や保護者と連携しながら、教科学習や総合的な探究の時間の充実を図り、グローバルな視野を持って自分の考えや意見を発信できる生徒の育成に寄与することができた。また、ICTを活用した連絡や情報発信の充実については改善を加えながら、効果的な活用を推進していきたい。		総合評価	A